



劣化する鹿児島島の沿岸域を 改善するための取り組み

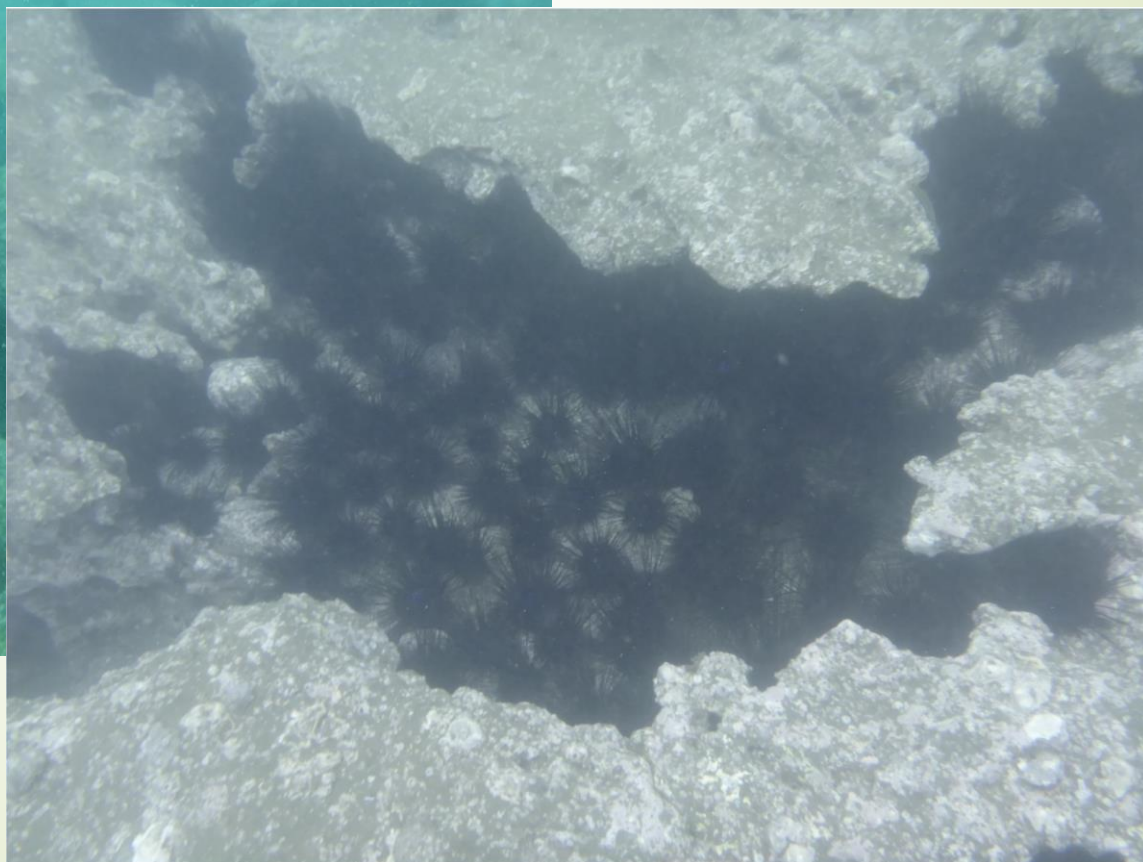
～企業を巻き込んだ藻場造成活動～



山川町漁業協同組合

川畑 友和

地域の課題（磯焼け）



青年部としての環境保全活動

山川町漁協青年部

魚協青
元の小
実施し、
。

山川地区藻場保全会
(環境生態系保全対策支援事業)

山川地区藻場保全会
(水産多面的機能発揮対策支援事業)



第1弾 藻場再生への挑戦

- ▶ 平成21年より水産庁の“環境生態系保全対策支援事業”を活用し、磯焼けしていた海域のガンガゼウニを徹底的に駆除。



藻場再生への挑戦

- ▶ ガンガゼウニを駆除した後に自生している海藻を投入し胞子を供給。

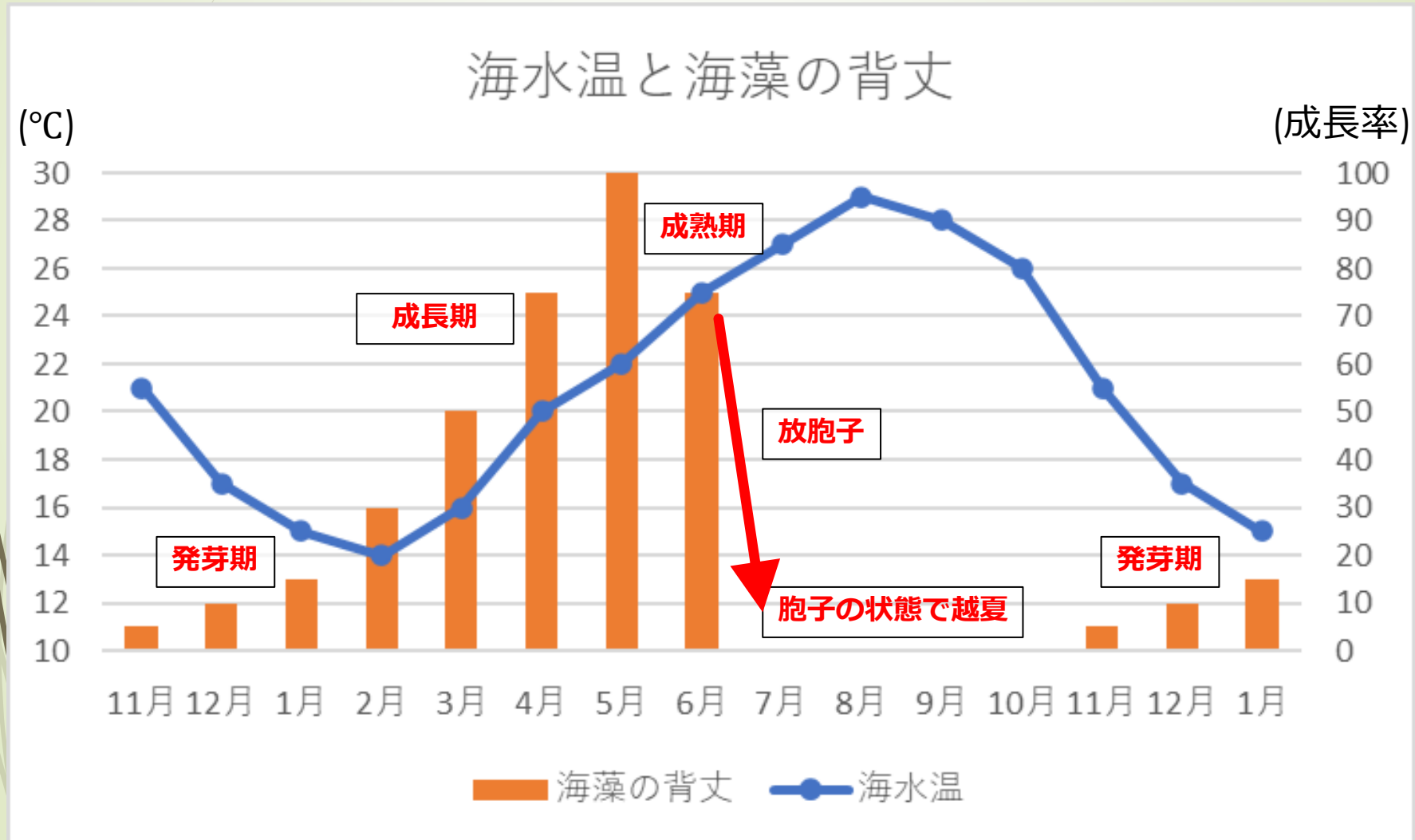


新たな敵が現れる

- ▶ 平成26年には健全な藻場が再生したが、平成28年ごろから徐々に分布域が小さくなり、平成30年には完全消失...



海藻の生活史(平成25年データ)



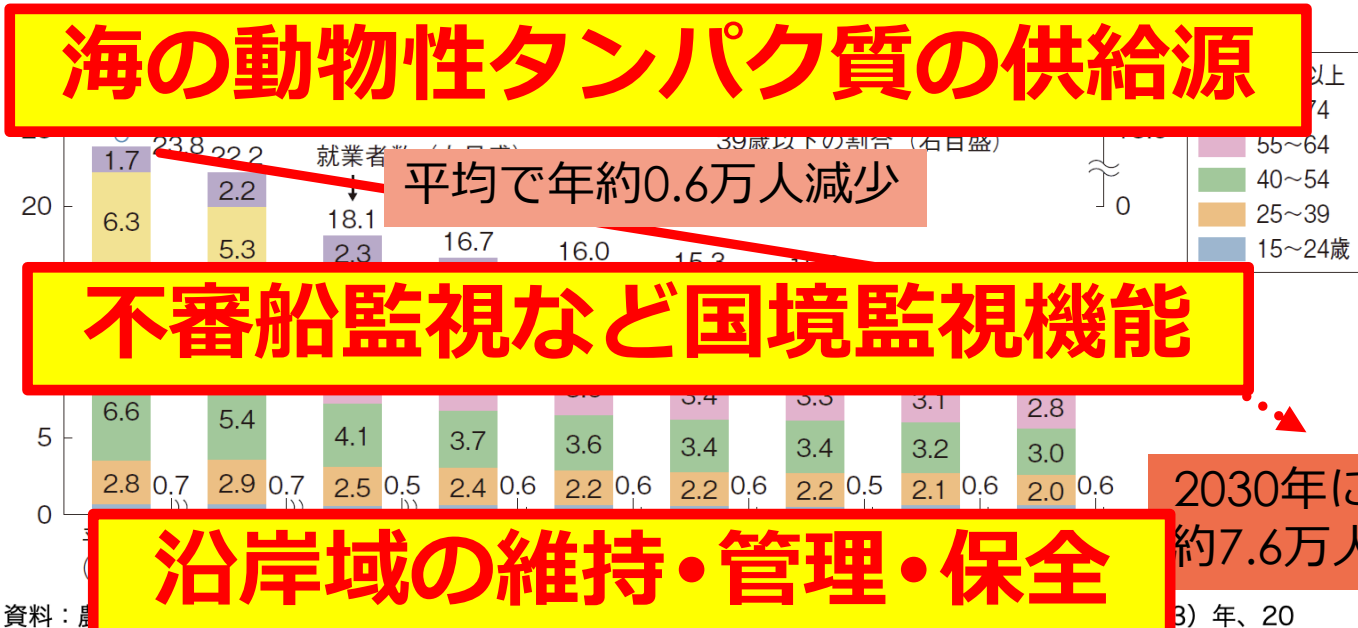
漁業者の藻場造成への機運が高まる

- ▶ 単年生アマモの再生のために200mの食害対策ネットを作成し、陸地と繋げることで5,000㎡の面積を確保



漁業者数の現状と予測

図表2-16 漁業就業者数の推移



注：1) 「漁業就業者」とは、満15歳以上で過去1年間に漁業の海上作業に30日以上従事した者。
 2) 平成20（2008）年以降は、雇い主である漁業経営体の側から調査を行ったため、これまでは含まれなかった非沿海市区町村に居住している者を含んでおり、平成15（2003）年とは連続しない。

企業と一緒に取り組む

藻場造成と一緒にしたい！！
というニーズはあるが。。。

漁協や漁業者の海藻海草に対する
知識・経験・スキルが必要

海藻のポテンシャル

多様な生物の住処、繁殖場所である藻場等は水産資源の回復とともに、観光等の産業にもつながり、地

域の振興をもたらす

持続的な水産業
(地域振興)



ブルーカーボンは気候変動対策のみならず、漁業、地域に不可欠なコベネフィットをもたらす



気候変動対策
(CN)

ブルーカーボンは気候変動の緩和を通じて、漁業、防災に不可欠な海洋の安定をもたらす

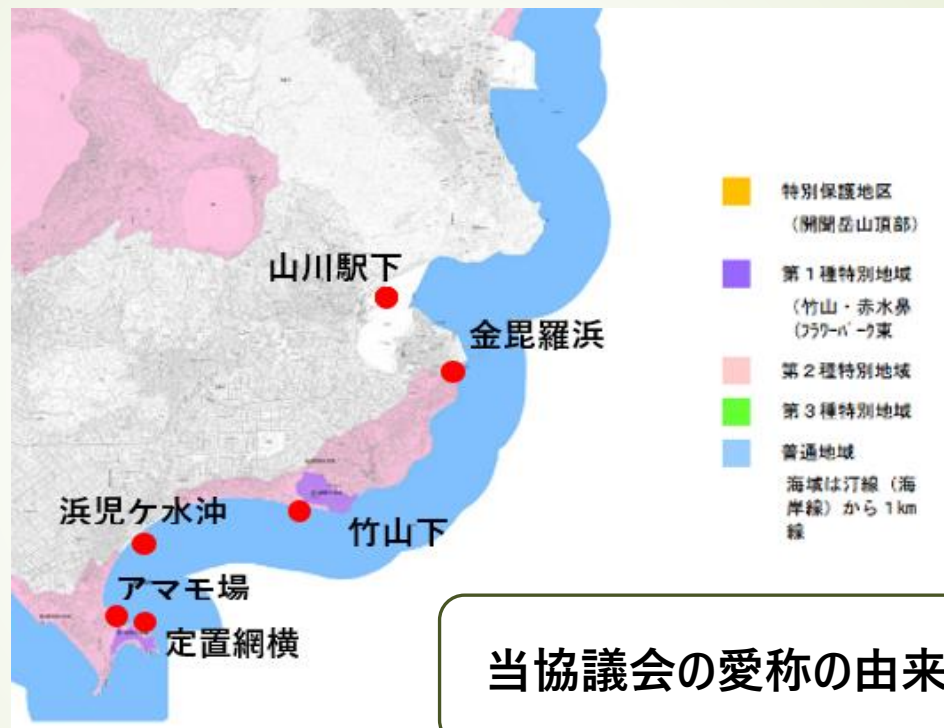


生態系保全
(NP)

豊かな生態系は豊かな食だけでなく、医薬品や化粧品の原料や観光、教育の場をもたらす

※農林中央金庫 安藤氏作成資料より

2023自然共生サイト認定



山川町漁協が、水産業と藻場の維持・回復を両立させてきた海域の一部を「山川の海のゆりかご（英名：Yamakawa Mother Sea）」として行政、農林中金と連携し「自然共生サイト」に申請

漁協・漁業者主体の認定は全国初！！

水産物の新たな価値の創出

- TCFDやTNFDの観点から原料調達先(間接的な環境負荷軽減)として注目される可能性が。。



**自然共生サイト認定の称号は水産物の
新たな価値を創出してくれることに期待！**



ご清聴ありがとうございました

